

## 幻の映画「ひろしま」上映会開催



西尾九条の会は、12月7日(土)、西尾市中央ふれあいセンターにて、広島に投下された原爆の現実を描いた映画「ひろしま」の上映会を開催しました。

この映画は、原爆が投下された8年後の1953年に公開され、被爆者を含めて、約8万5000人の広島市民がエキストラとして参加した壮大なスケールの映画です。

海外でも評価され、1955年のベルリン国際映画祭では、長編映画賞を受賞しました。

### 映画「ひろしま」

監督：関川秀雄

製作：菊池武雄 伊藤武郎

出演者：岡田栄次 月丘夢路

音楽：伊福部昭

撮影：中尾駿一郎 浦島進

### あらすじ

広島市のある高校の1クラスで、白血病により女子生徒のみち子が倒れた。戦後広島にやってきた担任の北川は、生徒たちと原爆症について話し合う。北川は、今まで原爆のことを知ろうとしなかったことを、生徒たちに謝罪した。病床のみち子は、「軍艦マーチ」が鳴り響く原爆投下前の広島を想起する…。

### 上映会参加者の感想

\* YKさん(西幡豆町在住)

月岡夢路さんが演じる女教師が、女子生徒たちと川に入水し、君が代を歌いながら果てていくシーンは、切なく哀しく、見るに耐えられない場面でした。

\* KMさん(富山町在住)

放射能に汚染された土地に大根の芽が出た場面は、非常に希望が持てて感動しました。

\* YOさん(亀沢町在住)

被爆者の高校生が出ていたので、高校生に観てもらいたい映画でした。

\* アンケートより

今まで見た広島原爆の映画と視点が違って、良い映画だと思いました。

\* 映画会を機に、新たに2人の方が西尾九条の会に入会されました。

### 主演の月丘夢路さんはノーギャラ

広島出身の主演女優、月丘夢路さんは、この映画にノーギャラで出演しており、原爆に対する並々ならぬ想いで演じています。また主演の岡田栄次さんは、フランス映画で広島原爆をテーマとした作品「二十四時間の情事」で、ここでも主演を務めています。

### 映画「ひろしま」当初は上映中止

この映画「ひろしま」は、映画の完成当初、GHQの検閲を受け、上映が中止になった歴史があります。

完成から半世紀、この映画は今、北米やヨーロッパ、アジアなど、世界各国で上映され世界的に大きな注目を集めています。

# おかざき九条の会、望月衣塑子さんの講演会を開催

おかざき九条の会は11月30日(日)、せきれいホールにて、望月衣塑子さん(東京新聞社会部記者)を招いて、「民主主義とはなにかー安倍政権とメディアー」と題した講演会を開催しました。会場は超満員でした。

望月さんは、菅官房長官に定例会見で、森友学園、加計学園の問題等、鋭い質問をして注目されている記者です。

東京新聞社に官邸からの圧力がかかり、番記者を下ろされそうになった時、ファックスで全国各地から応援のメッセージが届き、東京新聞のバックアップ体制が整ったことなどを話されました。

また今問題になっている「桜を見る会」や、沖縄辺野古の問題、安倍政権による九条改憲の問題など、手ぶり身ぶりで、面白可笑しくお話しをいただきました。



## 望月さんのドキュメンタリー映画 「i - 新聞記者ドキュメント」全国で放映中!

望月衣塑子さんといえば映画「新聞記者」の原案も手がけていることで有名ですが、その望月さん本人の記者活動が撮られているドキュメンタリー映画「i - 新聞記者ドキュメント」が、話題になっています。

望月さんの生の取材シーンが撮られた、リアルな迫力が伝わる映画で、望月さんの人間性も伝わる貴重なシーンもあるそうです。三河ではまだ上映館はありませんが、全国で順次放映されていくので、今から楽しみです。

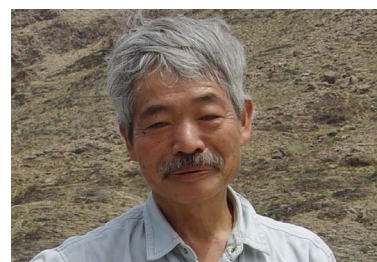


会場の岡崎せきれいホールは超満員

## 亡くなられた中村哲さん、憲法9条への思い

アフガニスタンの人道支援に取り組んできた医師の中村哲さんが、12月4日に、アフガニスタン東部のジャララバードで、銃撃を受け亡くなりました。中村さんは、1984年から、パキスタンのペシャワールで、ハンセン病治療に従事。その後アフガニスタン難民の医療支援に携わってきました。その中村さんには、9条に並々ならぬ思いがあり、自衛隊海外派兵に強く反対してきた方です。安保法制については「自衛隊が国際NGOを救出できるようにする、駆けつけ警護をするという想定はありえない」「助かる命も助からない」「支援は、その国の人たちの願いと保護を受けてやれること」と厳しく批判してきました。

改めてご冥福をお祈りします。



### 編集後記

映画「ひろしま」は、評判通り凄い映画でした。これほどの映画が半世紀以上もの間、日の目を見なかった背景は、GHQの検閲だけでなく、アメリカの顔色を伺う国内の風潮にもあると思います。やはり被爆者に寄り添う社会こそ、9条を持つ国として、ふさわしいのではないのでしょうか(加藤)

### 今後の予定(各地)

福島復興支援ー映画と音楽の集いー「被ばく牛と生きる」

2020年1月13日(月・祝)アンフォーレ本館1階(安城市)

①14:00~16:20 ②17:00~19:20 入場料1000円

主催:「被ばく牛と生きる」安城実行委員会

チケット問い合わせ:藤田清孝 080-4965-4187